

放射線測定器を貸出

▼貸出対象者
①町内に住所を有する18歳以上の方

②町内に事務所又は事業所を有する法人又はその他の団体

▼予約受付開始日
3月5日(月)から

▼予約受付時間
午前8時30分～午後5時

※日曜・年末年始を除く

▼貸出開始日
3月12日(月)から

▼貸出期間
半日(午前9時～午後12時30分、午後1時30分～午後5時)

※日曜・年末年始を除く

▼貸出台数
1回につき1台

▼申込方法
電話又は直接、利用希望日を予約し、利用日当日に貸出申請書と運転免許証など本人確認できる書類を持参。

※申請書は、環境美化センターもしくは、町HPから入手できます。

▼注意事項
測定器は、空間線量を測定するものです。食品や水、土壌は測定できません。

◎申込み・問い合わせ
環境美化センター

☎(72)4438

過去の災害による町の被害⑤

過去の災害を調べる

広報では4回にわたって、町で起こった災害のあらましを紹介しましたが、被害状況など詳しい内容についてはお伝えしきれいていません。今回は、過去の災害を調べるときに、どのような本が役に立つのかを紹介しましょう。

『おおいその歴史』

『大磯町史』のダイジェスト版です。過去の災害を簡単に読むことができます。さらに詳しいことを知りたい場合は、『大磯町史』の通史編(6、7巻)を見てみましょう。

『大磯の今昔』全10巻

郷土資料館初代館長鈴木昇氏がまとめた大磯の歴史です。関東大震災については9巻に書かれています。

『大磯町史』9巻(別編 自然)

過去に起きた自然災害をまとめた表があります。

『むかしがたり』

「古老が語る大磯の災害」災害を体験した方から話を聞き、かたりをそのまま文章にまとめたものです。

『大磯町史』3巻

(資料編 近現代1)

関東大震災関係の資料をまとめています。

『震災記録』

関東大震災の翌年(大正13年)に大磯警察署から発行された震災の記録です。町の被害状況がよくわかります。

『神奈川県震災誌』

関東大震災の4年後(昭和2年)に、神奈川県がまとめた震災の記録です。震災による県内の被害状況がわかります。

『大磯町文化史』

江戸時代の災害について詳しく書かれています。

ご紹介した本は、いずれも図書館または郷土資料館にあります。そのほかにも災害関係の本や資料を所蔵していただけますので、過去の災害について詳しいことを知りたい場合は、お気軽にお問い合わせください。



◎問い合わせ

・図書館 ☎(61)3002
・郷土資料館 ☎(61)4700

春の全国火災予防運動

3月1日(木)～7日(水)

平成23年度 全国統一防火標語

「消したはず

決めつけなひでもう一度」

3月1日(木)から7日(水)までの7日間、春の全国火災予防運動が実施されます。

これから春先にかけて空気が乾燥し、強い風が吹く日が多くなり、いったん火災が発生しますと、大きな火災になることがあります。

この運動は、火災予防への関心を高め、火災の発生を防止すること、高齢者等を中心とする死者の数を減らし、また財産の損失を防ぐことを目的として実施するものです。

火災を発生させないために、日頃から家庭、地域、職場等において火災予防を心掛けてください。

※住宅用火災警報器の設置が義務化になっています。設置されていない住宅は早目に設置してください。

住宅防火 いのちを守る

3つの習慣

●寝たばこは、絶対やめる。
●ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
●ガスコンロなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。

4つの対策

●逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する。
●寝具、衣類及びカーテンからの火災を防ぐために、防災品を使用する。
●火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器等を設置する。

●お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる。

◎問い合わせ

消防総務課 ☎(61)0911